



# あたる子

～優しい子・元気な子・賢い子～

## 「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

6月25日～7月1日に実施いたしました教育週間における諸活動に、御参加・御協力いただき、誠にありがとうございました。

6月25日には、土曜授業としてメディア研修会を行いました。講師に長崎県メディア安全指導員をお招きし、1～4年生には横山様から、5・6年生には江副様からお話していただきました。映像メディア機器の功罪を踏まえて、上手な付き合い方を分かりやすく説明していただきました。保護者の皆様にも多数御参加いただき家庭でのルールについても見直すきっかけとなったことと存じます。



また、その後行いました「緊急時引渡し・引取り訓練」も保護者の皆様の御協力により大変スムーズに終了することができました。反省点もいくつかありましたので、緊急時にも対応できるように見直したところです。

子供たちが楽しみにしていた授業参観も、28日と29日に学級を分けて実施しました。全学級、道徳の授業に取り組み、命の尊さや家族・友達の大切さなどについて、じっくりと考える時間にしました。子供たちは、いつにも増して真剣に考え、意見を述べ合うことができていました。



7月1日には、「100人パトロール」も4年ぶりに実施することができました。子どもを守るネットワーク代表の香月様や育成協の宮崎様、青色パトロール隊の皆様にも御参加いただき、育成会会長を始めとする保護者の皆様、教職員、子供たちを含めるとその名のおり100人あまりで、通学路の危険箇所を確認しながら、パトロールすることができました。今後共、子供たちの安全・安心のため御協力、よろしく願いいたします。



## 命について考えよう

教育週間中の6月28日に、全校集会で「命について考えよう」という話を、①命って何かな、②どうして命は大切な、③命を守り輝かせるためには、という順で話をしました。命の神秘的な仕組み、引き継がれ、取り戻せない、一つしかない大切さ、そして、その命を大切にするとはどういうことかを、子供たちと一緒に考えました。

自分の命を大切にするためには、規則正しい生活習慣を身に付け、健康や安全に気を付け、自分自身を成長させること。友達の命を大切にするためには、危険な行為や暴力で友達を傷つけない、いじめや仲間はずれ、ちくちく言葉で友達の心も傷つけない。そして、友達の良さを認め、仲良くすることを愛宕小で実行していくことを確かめました。

最後に、次のようなメッセージを送りました。皆でそう伝え合える学校、家庭、地域にしたいまいる。

### さいごに

「命はたいせつだ。命をたいせつに。

そんなことをなんぜんかい、

なんまんかい いわれるより、

『あなたがたいせつだ』と

だれかがそういつてくれたら

生きていける」



## 7月は「試す」

6日には、7月のテーマ「試す」について話をしました。それぞれの学年で、これまでに学んできたことが、しっかりと身に付いているのか、自分自信で試してみようと話しています。

学習内容や学習の約束、挨拶や歩き方等の学校決まりやマナー、そして、家庭学習や早寝・早起き等、家庭生活でも自分から考えて行動できているかを振り返り、できていないことについては、できる限り努力をして、1学期のゴールを迎えるよう呼び掛けました。何よりも大事にしたいのは、“I (アイ)”，自分で、自分からという点です。

御家庭での励ましをよろしく願いいたします。保護者の皆様にもう一つお願いです。徒歩での登校は大切な学びの一つです。特別な場合を除いては、車での送迎を御遠慮いただき、徒歩での登校時間を確保していただきますよう御協力お願いいたします。

※NIB「あさじげZ」での、愛宕小学校の紹介が9日(土)に決まりました。9時55分からです。ぜひ、御覧ください。